

図3-44 地域リハビリテーション広域支援センターヒアリング調査結果

機能・役割等		千葉	東葛南部	東葛北部	印旛	香取海匝
項目	内容等	千葉中央メディカルセンター	新八千代病院	旭神経内科リハビリテーション病院	成赤十字病院	旭中央病院
1	連絡協議会 (詳細は別紙)	有	有	有	有	有
2	リハ資源調査・情報収集等	無	無	無	有	有
	資源調査の実施	無	無	無	有	有
	情報収集の方法	無	無	無	有	有
3	リハ資源調査・情報収集等	無	無	無	有	有
	情報収集の方法	無	無	無	有	有
	情報の提供方法	無	無	無	有	有
4	リハ資源調査・情報収集等	無	無	無	有	有
	問題点・課題等	無	無	無	有	有
	問題点・課題	無	無	無	有	有
5	リハ資源調査・情報収集等	無	無	無	有	有
	問題点・課題	無	無	無	有	有
	問題点・課題	無	無	無	有	有
6	リハ資源調査・情報収集等	無	無	無	有	有
	問題点・課題	無	無	無	有	有
	問題点・課題	無	無	無	有	有
研修会・講演会の開催	無	有	有	有	有	有
福祉用具・住宅改修等相談支援	無	有	有	有	有	有
リハビリ専門職と地域包括支援センターとの協働事業実施	無	有	有	有	有	有
領域の特徴	無	有	有	有	有	有
工夫した業務・特に強化した業務	無	有	有	有	有	有
必要と思われる情報	無	有	有	有	有	有
意見・要望等	無	有	有	有	有	有

図3-44 地域リハビリテーション広域支援センターヒアリング調査結果(続)

機能・役割等		山武長生夷隅 公立長生病院	安房 亀田総合病院	君津 君津中央病院	市原 白金整形外科病院
1	連絡協議会 (詳細は別紙)	有	有	有	有
2	リハ資源調査・情報収集等	有	無	有	有
	情報収集の方法	Webサイトによる情報収集	病院が保有する資源データで対応	圏域内の関係職種との情報交換	市のホームページ等から情報収集
3	圏域の課題分析	圏域内の事業所数	圏域内のリハビリ資源	医療福祉施設のリハスタッフの把握	リハ資源、人口構成、高齢化率等
	関係機関への技術的援助	協議会、関係機関からの照会に対し回答	必要があれば提供可	メンバーリストの運用を検討	ちきさ会(圏域内の連携の会)
4	実施の有無	無	有	有	有
	関係機関からの協力依頼	無	有	有	有
5	研修会・講演会の開催	有	有	有	有
	実施の有無	有	有	有	有
6	福祉用具・住宅改修等相談支援	有	有	有	有
	実施の有無	有	有	有	有
リハビリ専門職と地域包括支援センターとの協働事業実施	有	有	有	有	有
圏域の特徴	・医師会も4地区にまたがり、面積も広大 ・医療、介護資源が少ない ・小規模事業所が多い	・急性性期病棟の亀田総合病院と地域の病院が一体となり進める医療モデルが構築されている圏域	・医療過疎地域・職員数、病床数、人材の不足 ・訪問診療可能な診療所が少なく管轄地区が広く効率が悪い	・市1保健所1医師会(圏域内で完結) ・医療資源、在宅・認知症サービス資源、交通手段が乏しい ・通所系介護サービス施設が多い	・地域の医療機関として、患者以外の住民からの相談については対応困難なセンター多数 ・対象を住民ではなく関係機関としての相談対応として要検討。
工夫した業務・特に強化した業務	・出張研修会を取り入れている ・圏域が広いため山武地区については他病院の協力を得ている	・連絡協議会の開催を市町村で持ちまわることにより事業の周知・定着を図っている。	・圏域内のリハ従事者の把握 ・医療分野以外の資格保有者(柔道整復師、リハ関係の潜在資格保有者やボランティア等)情報	・行政機関との連携強化 ・多職種の見える「顔」関係づくりの構築 ・マスコットキャラクターの作成	・地域課題、資源情報 ・他圏域、他県での成功事例 ・行政(国・地域包括)との共有情報
必要と思われる情報	特になし	・圏域内のリハ従事者の把握 ・医療分野以外の資格保有者(柔道整復師、リハ関係の潜在資格保有者やボランティア等)情報	・圏域内の関係機関におけるセラピストの在籍状況	・地域課題、資源情報 ・他圏域、他県での成功事例 ・行政(国・地域包括)との共有情報	・地域課題、資源情報 ・他圏域、他県での成功事例 ・行政(国・地域包括)との共有情報
意見・要望等	関係機関からは出張研修会を増やしてほしいという要望があるが、圏域の広さ、マンパワー不足により対応が困難	・行政(保健所)に積極的に関わってほしい。 ・二次保健医療圏の中だけでは完結しない問題がある。	・行政(保健所)の協力が必要な会議等については行政(保健所)が主体となつて関わってほしい。	・事業を実施するための情報が少ない ・広域支援センターを対象とした地域診断研修の開催を希望	・事業を実施するための情報が少ない ・広域支援センターを対象とした地域診断研修の開催を希望

図3-45 地域リハビリテーション広域支援センターヒアリング調査結果②(連絡協議会)

NO	地域リハビリテーション広域支援センター		構成員等													協議内容	協議会開催の効果等	困難を感じる点				
	圏域	病院名	医師会	歯科医師会	薬剤師会	看護協会	訪問看護協議会	理学療法士会	作業療法士会	言語聴覚士会	介護協議会	医療機関	ヘルパー協議会	市町村	地域包括支援センター				保健所	社会福祉協議会	その他	備考 (その他組織等)
1	千葉	千葉中央メディカルセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実績報告 ・事業計画の周知 ・情報の共有 ・意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ○圏域内で回復期病棟を持つ病院や関係機関の連携強化につながった。 ○協議会の他に「回復期リハビリテーション病棟の会」を設置し、現場レベルでの意見の集約を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○広域支援センターの認知度が低く、職能団体より意見をもらうことに苦慮している。
2	東葛南部	新八千代病院																		<ul style="list-style-type: none"> ・活動報告 ・活動計画の策定 ・情報の共有 ・意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ○議題に合わせ、老健協会や訪問リハ、訪問看護等様々な職能団体の会員でもある人材で協議会を構成しているため、双方の立場からの意見をもたうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○圏域が広く行政機関も多いため、連絡方法や周知方法に苦慮している。 ○自治体によって人口規模や行政サービスも様々であり、一律の課題抽出は困難 ○行政(市)の担当窓口が不明のため、関係部署の把握が困難
3	東葛北部	旭神経内科リハビリテーション病院																		<ul style="list-style-type: none"> ○事前にアンケートを実施し、協議内容に反映させることで関係機関の支援・連携強化につながっている。 ○認知症リハビリ、各種連携シート(認知症・地域連携)の普及啓発に役立っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事前にアンケートを実施し、協議内容に反映させることで関係機関の支援・連携強化につながっている。 ○認知症リハビリ、各種連携シート(認知症・地域連携)の普及啓発に役立っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○圏域が広く、行政機関が多岐にわたるため、行政などの連絡先や周知先に苦慮している。
4	印旛	成田赤十字病院	○																	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有 ・意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ○圏域が広く市町村も多いため、講習会と同時開催とすることにより参加率の向上を図り、本事業の協働体制や連携体制の強化につながっている。 ○また、圏域が広いいため協議会で行う意見交換やアンケート調査により、地域の課題を抽出する役割を担っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○協議会で課題抽出をするためには、各市や関係機関の意見を踏まえ検討することが望ましいが、圏域が広く参加できない機関もあるため、意見集約に苦慮している。
5	香取・海匠	旭中央病院																		<ul style="list-style-type: none"> ・課題協議 ・活動計画の策定 ・情報の共有 ・意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ○顔の見える関係からネットワークづくりの実践に繋げるため、名刺交換会を実施。 ○センターの分科会として「訪問リハ支援班」と「地域ネットワーク班」を設置し、町づくりの一端を担っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の課題抽出のための情報収集に当たり、行政の保有する情報を得るための窓口が不明確のため、やり取りに苦慮している。
6	山武・長生・夷隅	公立長生病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・活動報告 ・活動計画の策定 ・情報の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ○圏域の面積が広く市町村数も多いため、研修会や講演会等で周知を行いつながら、協議会でも関係機関に協力や助言を求めながら連携強化を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○圏域内の行政機関も多く(17市町村3保健所)調整が困難な上、担当窓口もそれぞれ別の機関で異なるため苦慮している。
7	安房	亀田総合病院																		<ul style="list-style-type: none"> ・課題協議 ・活動計画の策定 ・情報の共有 ・意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ○連絡協議会の実施を継続して行うことにより、関係機関の連携強化や事業の周知に繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○広く圏域内の意見徴収のため、関係機関全てに案内をし、参加者を募ることで、現場の声を共有や顔の見える関係づくりに効果がある反面、参加者が固定される傾向がある。
8	君津	君津中央病院	○																	<ul style="list-style-type: none"> ・課題協議 ・活動計画の策定 ・情報の共有 ・意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ○脳卒中連携バスや大腿骨骨折連携バス等、退院支援を含めた意見交換ができ、退院支援が円滑に行える関係が構築されている。 ○フォーラムという目的を多職種の関係者で担う事で連携強化を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市により人口規模や医療・介護資源に差があり、一律の課題抽出が困難 ○行政機関(市)への協議会参加依頼や情報取得が必要となるが、担当窓口が不明確なため苦慮している。
9	市原	白金整形外科病院																		<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有 ・意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ○顔の見える関係づくりのために、協議会と「ちき会」を活用し、名刺交換会やグループワークを行う事で関係機関のネットワークを構築した。 ○事業を通じ地域の課題や解決方法等の共有ができるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○圏域の市は市原市のみであるが、市内の対策が北部と南部で大きく異なり、医療資源にも差があるため、連携強化のための課題の抽出が困難